

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第1回武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会
開 催 日 時	平成28年5月19日（木）午後1時15分～午後3時10分
開 催 場 所	301会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：堀口委員、成田委員、下田委員、指田委員、白土委員、福田委員、栗岩委員、鈴木委員、清水委員、波多野委員、渡辺委員、高橋委員 事務局：健康福祉部長、健康推進課長、予防G主査、健康推進G主査、栄養・歯科G主査、栄養・歯科G主任、健康推進G主任、健康推進G技師、委託業者2名
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員委嘱書の交付 2 健康福祉部長挨拶 3 委員自己紹介 4 事務局紹介 5 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会設置要綱について (2) 市民意識調査について 6 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 座長及び副座長の選出について (2) 武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会に関する運営要領（案）について (3) 懇談会の進め方について (4) 武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画骨子（案）について (5) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	<p>議題1について：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座長は堀口委員、副座長は成田委員に決定。 <p>議題2について：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会に関する運営要領（案）のとおり決定。 <p>議題3について：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懇談会の進め方は事務局案のとおり決定。 <p>議題4について：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育の位置付けを再度検討する。 ・次回会議では、2つの目次案と概念図案、武蔵村山市の基礎データやエリア別のアンケート調査結果を資料として提示する。 ・第1章第1節には、国や都の状況に加え、武蔵村山市らしさが伝わる内容に変更する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員委嘱書の交付 2 健康福祉部長挨拶 3 委員自己紹介 4 事務局紹介 5 報告

(1) 武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会設置要綱について
(事務局) 資料1「武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会設置要綱」について説明

(2) 市民意識調査について
(事務局) 資料2「アンケート調査結果報告書(概要版)」について説明

6 議題

(1) 座長及び副座長の選出について
(事務局) 座長・副座長の選出については、設置要綱第4条により委員の互選で決定することになっている旨を説明

(委員) 座長に堀口委員、副座長に成田委員を推薦する。

(委員) 異議なし。

<結論>

・座長は堀口委員、副座長は成田委員に決定する。

(2) 武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会に関する運営要領(案)について

(事務局) 資料3「武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会に関する運営要領(案)」について説明

(座長) 委員の方々が出席している他の会議の傍聴者の状況はどうか。

(事務局) 会議の内容により、傍聴者が多い場合もあれば、いない場合もある。

(委員) 会議の開催のお知らせはどのようにしているのか。

(事務局) ホームページで日程等をお示ししている。会議日程が決まった時点で告知をしている。

<結論>

・「武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会に関する運営要領(案)」のとおり決定する。

(3) 懇談会の進め方について

(事務局) 資料5「武蔵村山市健康増進計画」、資料6「武蔵村山市食育推進計画」について説明

－質疑・意見等－

(座長) 健康増進計画の第4章第2節で、毎年進捗状況の確認と評価を行うとの記述があるが、どのように確認と評価を行っているのか。

(事務局) 食育推進計画については、食育ネットワーク協議会、食育推進連絡会、栄養連絡会の会議で進捗状況を確認している。健康増進計画については、市民健康づくり推進協議会で健診や健康教室等の統計を基に、市の健康増進事業について説明をし、承認をいただいている。

(座長) それらの会議に出席されている方はこの委員の中にいるか。

(事務局) いる。健康づくり推進協議会には、医師会、歯科医師会、薬剤師会、地域の保健所の方、体育協会、商工会等から参加いただいている。

(委員) 資料4のスケジュールで、市長への報告が11月となっているが、パブコメの前に報告をするということか。

(事務局) 一度市長に報告をしてからパブコメを実施し、その後、1月頃に策定委員会で修正等を加えて確定する予定である。

(委員) 最終確定後にも市長に報告をするということか。

(事務局) そのとおりである。

<結論>

・平成28年11月までに6回の会議の開催を予定し、素案に対し分野別に意見をいただく。

(4) 武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画骨子(案)について

(事務局) 資料7「武蔵村山市健康増進計画・武蔵村山市食育推進計画目標値一覧」、資料8-1「武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画目次案」、資料8-2「武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画骨子(案)概要」、資料8-3「市民の健康を取り巻く状況(まとめ)」について説明

—質疑・意見等—

(委員) 現行の健康増進計画と食育推進計画という2冊のものを1冊にするという理解でよいか。

(座長) そのとおりである。

(副座長) 概念図は下から上に向かっていくイメージだが、内容を見ると「食育の推進」は健康に向けての社会環境整備の一つと捉えられるのではないか。食育が健康増進にどのようにつながるのかなど、図を工夫してもう少し分かりやすくした方がいい。

(座長) 概念図について、食育の位置付けなどを分かりやすく修正してほしい。

(委員) 概念図は目次の第3章と連動しているが、第1節は第4節と第5節の間に入れた方がいいのではないか。

(座長) 「分野の目標と取組」で「食育の推進」というのは言葉としてどうか。食生活・栄養は食育にも入るのではないか。

(委員) 並びの問題で、第2節「生活習慣の改善」、第3節「ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える環境の整備」、第4節「食育の推進」の次に第1節「主な生活習慣病の発症及び重症化の予防」がくるのがいいのではないか。母子保健はまた別なのではないか。

(副座長) 食育の取組を通じて、人と人のつながりを深めたり、心の健康につなげていくといった環境整備に近いところなので、再考してほしい。

(座長) 例えば、第3節を「ライフステージを通じた健康づくり」とし、第4節を「健康を支える環境の整備と食育の推進」とした方がいいということか。

(副座長) 他の自治体で食育と健康増進を一緒にした場合は、食育を食生活・栄養に入れ込んでしまうケースが多い。武蔵村山市ではどちらに重きを置くかということではないか。

(委員) 食生活・栄養に食育を入れるのは、食育推進計画が健康増進計画に含まれてしまう形になるので工夫してほしい。

(座長) 食育を第3章の節として入れるのではなく、1つの章として、食にまつわる環境などとした方がいいのではないか。次回の会議で2つ案を出してもらい検討してほしい。また、第4章は「計画の推進と評価」とした方がいいと思う。

(座長) 資料8-2の2ページの関連計画の図について、地域福祉計画の位置付けが、第一次健康増進計画では他の計画を包括する形

	<p>となっているが、今回の案では他の計画と横並びになっている。このように考え方を変えたということか。</p> <p>(事務局) 確認する。</p> <p>(座 長) 骨子の第1章第1節について、もう少し武蔵村山市らしさを入れた方がいいのではないか。</p> <p>(副座長) エリアによって特徴も違うと思うので、その点も踏まえて健康につなげるという書き方もある。</p> <p>(委 員) 食育とは栄養も含めた食育なのか、食の大切さを子どもに伝えることなのか、食育の範囲がよく分からない。</p> <p>(座 長) 会議の中で検討し、計画の中に「武蔵村山市では食育をこのように捉えました」ときちんと言われていけばいいのではないか。</p> <p>(委 員) 第1章第1節で国や都の状況についての説明があってもいいが、武蔵村山らしさが分かりやすく書かれているといいと思う。</p> <p>(委 員) 武蔵村山市の人口や年齢構成、流出入状況などを見て、市の将来の姿を考えた上で、食育や健康増進を考え直す方がいい。市民が見て「そうか」と思わなければ市民の意識を変えることはできないので、市の将来をどうしていきたいかをまず決めて、考え方を統一してから作っていく必要があるのではないか。何に重点を置くか。高齢者と子どもが多く、その間の世代が少ないならば、高齢者と子どもを結びつける食育の取組を行うことで武蔵村山らしさが出る。本を合体するのではなく、内容を合体するという考え方で、課題を持ち寄って検討する方がいいのではないか。</p> <p>(座 長) 資料編に基礎データを入れることになっているので、次回の事前資料として案を提出してほしい。</p> <p>(委 員) 例えば、緊急支援を必要とする母子家庭や高齢者世帯などが武蔵村山市にどれくらいいるのかも、可能であればデータを出してほしい。本当に救いたい人たちに手が行き届くようにする必要がある。</p> <p>(座 長) 生活困窮者対策については、福祉や障害者など複数の計画で支えていく。そういう人たちの健康づくりについてどうするかを健康増進計画に明記したほうがいいということだと思うが、それは第一次計画の「ハイリスクアプローチ」に含まれる。</p> <p>(委 員) 生活困窮者については、個別に地域のソーシャルワーカーなどがもっと分かりやすいチラシを渡すなどして支援を届けていくのだと思う。この計画とは少し離して考えたほうがいいのではないか。</p> <p>(座 長) 章立てと節の組み方がポピュレーションのアプローチにしか見えない。食育とハイリスクへの取組が分かるような目次案を出してほしい。</p> <p>(委 員) 武蔵村山市は家を買って引っ越してくる子育て世代も多いが、子どもが大きくなるとほとんどの母親は働きに出る。仕事と家事で子どもに食べさせることで手一杯という母親も多いので、視点2の子どもを育てる母親からのアプローチについてはもう少し検討が必要だと思う。学校教育の部分が大きいかもしれないが、子どもが一人で食事をする際にも、自分で栄養バランスなどを考えられるような教育も必要ではないか。</p> <p>(座 長) 視点2は前回の計画から継続していると思うので、今日の意見</p>
--	---

	<p>を参考にして事務局で検討してもらいたい。</p> <p>(委員) 第一次計画の目標値に届かない項目についての理由は今後解析すると思うが、健康増進計画を見て思うのは、子どもが運動する場がなく、運動しないとお腹が空かないのでごはんを食べない、というように食育とつながっている。市内の運動する場の情報なども資料としてあれば議論が進む。</p> <p>(副座長) 分析の結果をもっと深く掘り下げて、エリア別や運動の有無で差異が出ると思うので、そういったデータを示してもらえば議論ができる。</p> <p>(座長) この会議に教育委員会が入ってなくてもよいか。</p> <p>(事務局) 食育ネットワーク協議会に学校長や学校給食課長などが参加している。また、この計画の策定委員会に教育委員会事務局が参加している。</p> <p><結論></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育については、章立てをするかどうかも含め再度検討するために、2つの目次案と概念図案を出す。 ・検討の材料とするために、次回会議に武蔵村山市の基礎データやエリア別のアンケート調査結果を出す。 ・第1章第1節には、国や都の状況に加え、武蔵村山市らしさが伝わる内容に変更する。 <p>(5) その他</p> <p>(委員長) 次回以降の日程は、資料9を参考に7月から9月まで月1回程度開催する。</p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公開 傍聴者： _____ 0人</p> <p><input type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="font-size: 2em;">()</p>
--------------------	---

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開示</p> <p><input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等： _____)</p> <p><input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等： _____)</p>
---------------------	--

<p>庶務担当課</p>	<p>健康福祉部 健康推進課 (042-564-5421)</p>
--------------	-----------------------------------

(日本工業規格A列4番)